

農作物技術情報 第1号 果 樹

発行日 平成30年 3月 15日
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
 編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
 パソコン、携帯電話から「<http://i-agri.net/Index/gate002>」

- ◆ 「ふじ」の花芽率は平年並ですが、地域、品種によるバラツキが大きい傾向！！
- ◆ 発芽はほぼ平年並と予測！！ 春作業を計画的に進めましょう！

りんご

1 花芽の状況 (図1~3)

平成30年産りんごの花芽率を県平均で平年と比較すると、「つがる」は高く、「ジョナゴールド」は低め、「ふじ」はほぼ平年並となっており、品種によってその傾向に違いがあります。また「ジョナゴールド」「ふじ」では平年よりかなり低い地域もあり、今年の花芽は品種や地域によるバラツキが例年以上に大きい傾向が伺われました。なお弱小花芽率は、県平均で平年と比較すると、「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともほぼ平年並となっています。

品種や地域により花芽率が低い要因について、花芽率の年次推移をみると今年は裏年にあたるため、その影響もあると思われませんが、近年土壌の過乾過湿が激しく樹勢が衰弱していることや、秋に着色が遅れて収穫期も遅れ気味になり、樹体への負担が大きくなっていることも要因として推察されます。

結実率が平年並を確保できれば、平年並の作柄は確保できると推察されますが、花芽の状況が地域や園地・品種によってバラツキが大きいと考えられますので、剪定にあたっては花芽の状況を観察し、栽培管理の効率化、受光体制の維持、農薬の到達性などに留意しながら作業を実施しましょう。

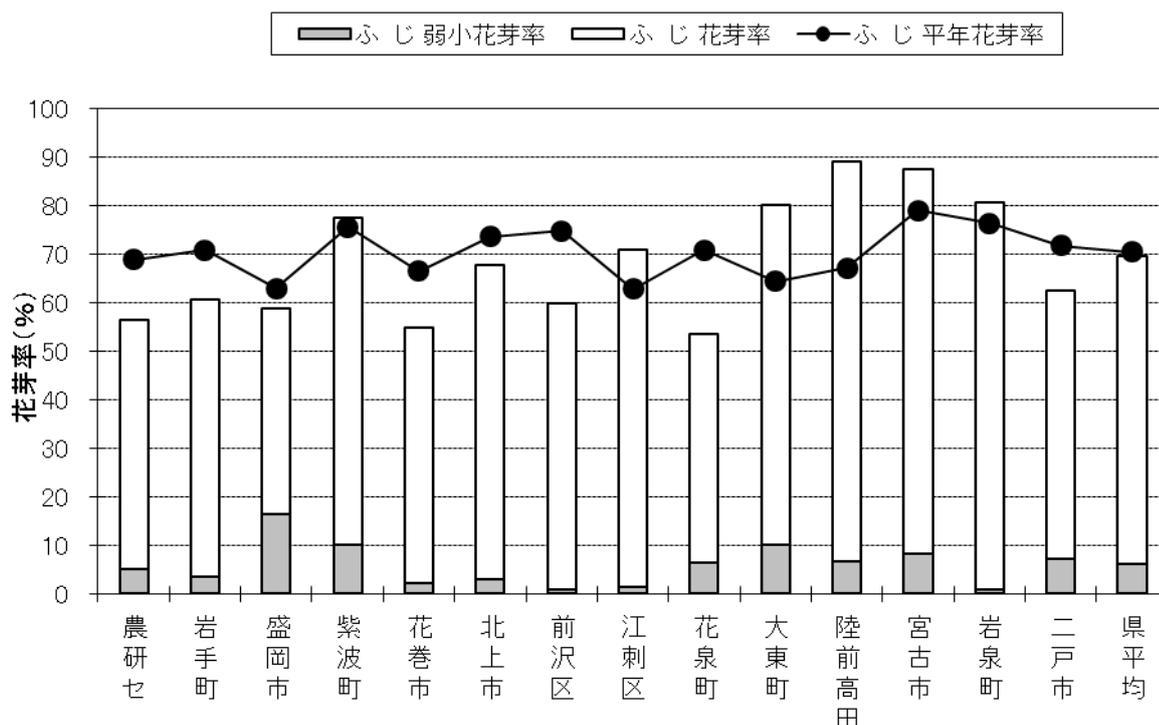


図1 平成29年度(平成30年産)ふじの花芽率

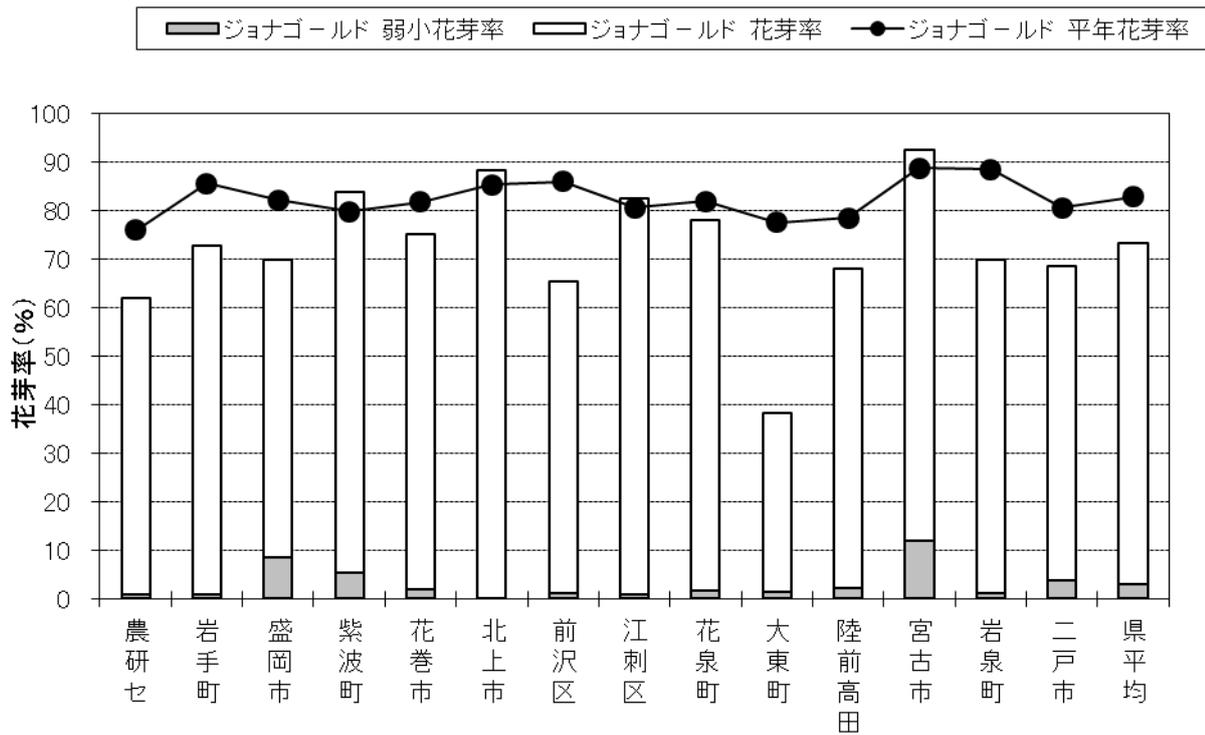


図2 平成29年度(平成30年産)ジョナの花芽率

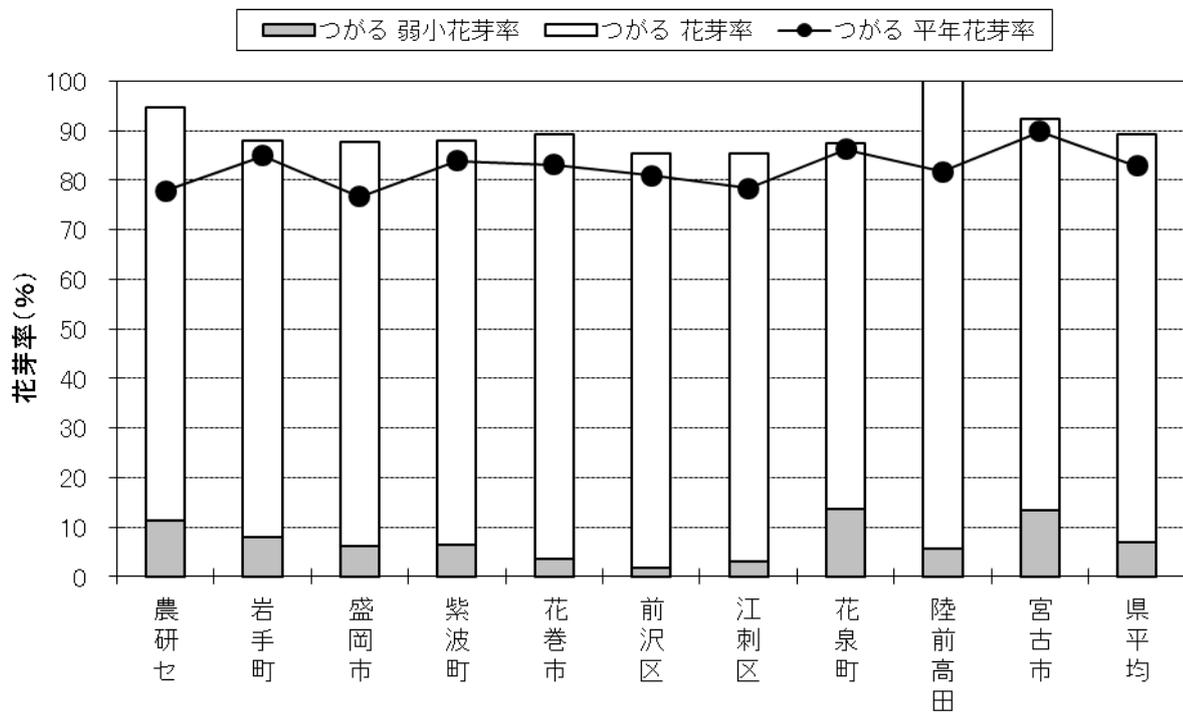


図3 平成29年度(平成30年産)つがるの花芽率

2 発芽予測（表1）

3月11日時点のりんごの発芽予測は、予測日以降の気温が平年並で推移した場合、県平均で平年より+1日とほぼ平年並になっていますが、内陸部で平年よりやや遅れ、県南や沿岸地区でやや早まる予測となっています（表1）。

なお3月8日仙台管区气象台発表の1カ月予報では、ここ1カ月の平均気温は高いと見込まれているため、表1の予測結果よりも早まる可能性があります。

今後も気象予報には十分に注意し、桜の開花前線やツバメ飛来等周辺の生物季節の推移も参考に、せん定や防除の準備等を進めましょう。

表1 ふじの発芽予測結果(3月11日時点)

市町村	地区	気象特性区分	予測データのアメダス地点	平年発芽日(月/日)	発芽日予測結果(月/日)※1			発芽予測日(平年)と実測発芽日の差(±日)
					2.0度低い	平年	2.0度高い	
岩手町	一方井	I	好摩	4/13	4/21	4/15	4/10	2
盛岡市	三ツ割	III	盛岡	4/10	4/18	4/12	4/7	2
紫波町	長岡	III	紫波	4/8	4/19	4/13	4/8	5
花巻市	中根子	IV	花巻	4/7	4/16	4/11	4/6	4
北上市	更木	IV	北上	4/7	4/14	4/9	4/4	2
奥州市	前沢区稲置	IV	若柳	4/4	4/15	4/10	4/5	6
	江刺区伊手	III	江刺	4/10	4/14	4/8	4/4	-2
一関市	花泉町金沢	IV	一関	4/4	4/10	4/5	4/1	1
	大東町大原	III	千厩	4/9	4/14	4/8	4/3	-1
陸前高田市	米崎	IV	平年値:大船渡 実測値:高田	4/6	4/10	4/5	4/1	-1
宮古市	崎山	II	宮古	4/7	4/11	4/6	4/1	-1
岩泉町	乙茂	II	岩泉	4/9	4/13	4/8	4/4	-1
洋野町	大野	II	久慈	4/14	4/17	4/11	4/5	-3
二戸市	下山井	I	二戸	4/9	4/20	4/14	4/9	5
県平均(参考)				4/8	4/15	4/9	4/4	1
【気象特性区分別平均】(参考)								
I 県北・山間・高標高地帯				4/11	4/20	4/14	4/9	3.5
II 沿岸北～中部地帯				4/10	4/13	4/8	4/3	-1.7
III 県中部及び県南部山間地帯				4/9	4/16	4/10	4/5	1.0
IV 県南部及び沿岸南部地帯				4/5	4/13	4/8	4/3	2.4

※1 予測結果の「2度高い」、「平年」、「2度低い」は、予測日以降の気温が、その様に経過した場合の予測結果

※2 発芽予測の定数は、農研センターで算出した、Ea:20000、平均DTS:7.509386、起算日:2/15

3 作業の留意点

- (1) 防除作業や各種管理作業は、生育ステージに合わせて進める必要がありますので、薬剤の準備、せん定枝の片付けなどの園地整備を早めにし、作業の遅れが生じないようにしましょう。
- (2) りんごの花器は、開花期に近づくにつれ、低温耐性が下がってきます。さらに、近年の気象は変化が大きく、極端な低温による凍霜害発生の危険性が否定できません。燃焼資材の準備、防霜ファンの点検、防霜対策用スプリンクラーの設置など対策の準備を進めましょう。また、霜害の事後対策としては、人工授粉による結実確保が重要なので、花粉の準備も合わせて進めましょう。
- (3) 病害虫の発生状況については、病害虫防除所が発行する防除情報を参考に、適期防除に努めましょう。

次号は4月26日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

中央農業改良普及センター県域普及グループは、地域農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。